

## 食品健康影響評価に係る補足資料に関する厚生労働省からの回答

要求資料	厚生労働省からの回答
1. 財団法人 化学物質評価研究機構からの最終報告書（個体別病理組織学的所見を含む）及び研究計画書 2. 財団法人 食品農医薬品安全評価センターからの最終報告書（個体別病理組織学的所見を含む） 3. 平成16年度分担研究報告書Fig. 1～3及びFig.9についての体重実測値 4. 平成16年度分担研究報告書Fig. 4～8及びFig. 10～13についての実測値	提出可能。
5. 飼料中のphytoestrogen量または使用した飼料の組成（特に大豆タンパクの使用の有無）	全委託研究においてオリエンタル酵母工業のMFを使用。phytoestrogen量は未測定だが、市販試料のエストロゲン活性を調査した報告にて評価されている。 当該論文（Kato et.al, <i>J. Agric. Food Chem.</i> 2004, 52, 1410-1414）を参考として提出。
6. 母動物、胎児、母乳中のBisphenol A測定値（データがあれば）	データを採取せず。
7. Bisphenol Aの経口投与時に使用した溶媒名、グレード及びメーカー名	全委託研究においてオリーブ油を使用。化評研：日本薬局方、フヂミ製薬所製、安評センター：和光純薬工業（株）製。
8. ポリカーボネート製のケージ、床敷き及び給水ビン等、飼育環境中のBisphenol A濃度	データを採取せず。 参考資料として飼料中や飼育環境中のビスフェノールAの濃度に関する資料（内分泌かく乱化学物質の健康影響に関する検討会、中間報告書追補その2より抜粋、厚生労働省医薬食品局化学物質安全対策室、平成17年3月31日）を添付。
9. 最終報告書との整合性をとり訂正した分担研究報告書	データの精査、確認が必要なため、提出までに時間を要する。